

## 6. 計画の基本方針

「交通の理念」のもと4つの目標を実現するため、概ね10年先を見据えた基本方針を次のとおり定める。

### 【目標1】環境・ひとにやさしい交通

#### ●方針1

##### 自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備

- ・自動車に過度に頼らず移動できるよう、鉄道・バス・自転車などの既存交通機関の多様な特性を生かし、連携しながら適切に組合わせて利用する効率的で多様な交通手段が確保された利用しやすい交通環境の整備を図る。

#### ●方針2

##### 物流システムの適正化・効率化の推進

- ・中心市街地では、人にやさしい質の高い歩行者空間を確保するため、道路管理者や事業者等と連携し、荷捌き駐車場の確保方策や共同配送の実現に向けた検討を行い、物流の適正化・効率化を図る。

### 【目標2】豊かな暮らしを支える安全で安心な交通

#### ●方針3

##### 良好な歩行者・自転車環境が確保された歩いて暮らせるまちの創出

- ・歩行空間のユニバーサルデザイン化など移動円滑化を進め、良好で連続した歩行環境の整備を進めるとともに、既存サイクリングロードとの一体的ネットワーク形成に配慮しながら、自転車も利用しやすい交通環境の実現に取り組む。

#### ●方針4

##### 優先順位の評価による効率的な道路整備

- ・首都圏における広域連携拠点としての発展を支え、拠点及び地域間を連絡したり、鉄道駅等交通結節点へのアクセス道路などの緊急性・重要性の高い道路に加え、公共交通や歩行者・自転車ネットワークを重視した道路などの優先的かつ効率的な整備を推進する。

## 【目標3】 まちの魅力を高め交流を促進する交通

### ●方針5

#### 都市拠点や地域拠点を連携し、交流機能を強化する公共交通軸の形成

- ・ 柏市の連携軸を補完し、都市拠点や地域拠点を相互に連絡しながら交流機能を強化する新しい公共交通軸の整備により、一体的な市街地形成を図る。

### ●方針6

#### 中心市街地の活性化を支援する交通施策の推進

- ・ 面的な歩行者空間の整備など、歩いて楽しい歩行空間の確保を目指すとともに、回遊性の向上を進め、街のにぎわいづくりに寄与できるよう、商業振興や魅力あるまちづくりと連携した交通施策を協働で展開する。

## 【目標4】 市民等の協働により支え合う交通

### ●方針7

#### 民・産・学・公の連携による交通政策の推進

- ・ 市民や地域が主体的に関わる次世代型のまちづくりを目指すためには、交通政策の分野においても、市民・企業・大学・行政などの多様な主体がそれぞれの役割を担いながら協働・連携できる体制や仕組みを整える。

### ●方針8

#### 市民等との協働による交通政策の推進

- ・ 公共交通機関利用への啓発や誘導を図り、自動車に依存したライフスタイルを見直すなど、市民や企業に対する環境等に配慮した交通行動へのシフトを支援する。